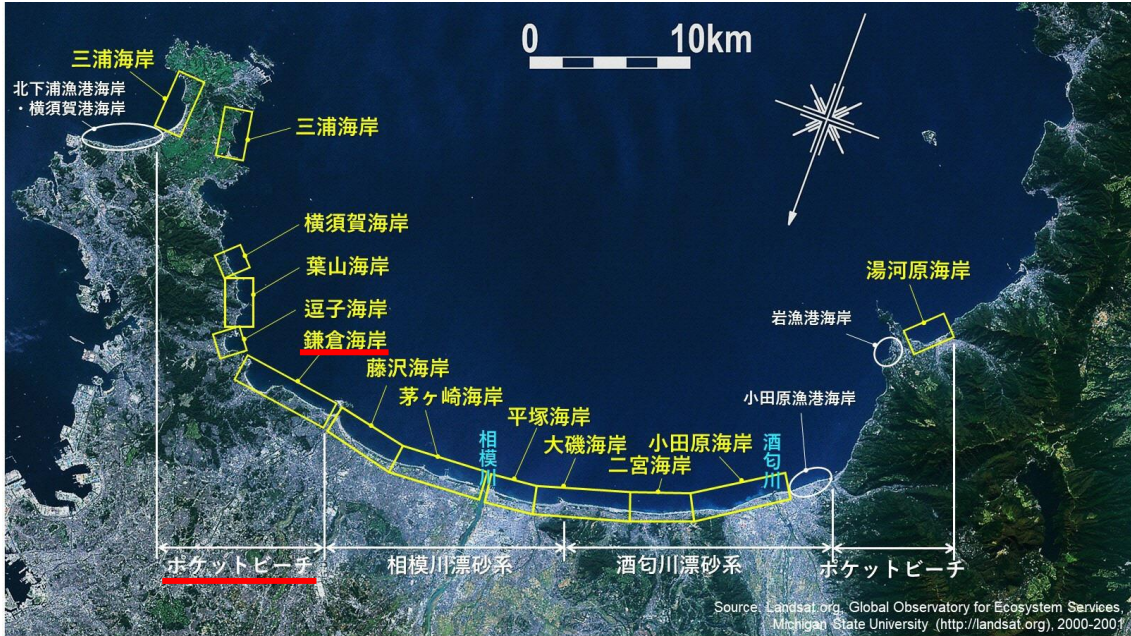


相模湾沿岸海岸侵食対策計画の概要

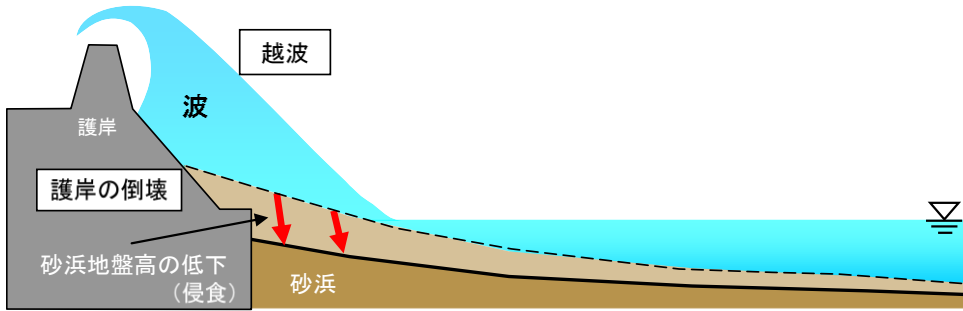
1. 相模湾沿岸海岸侵食対策計画の範囲



2. 砂浜の評価

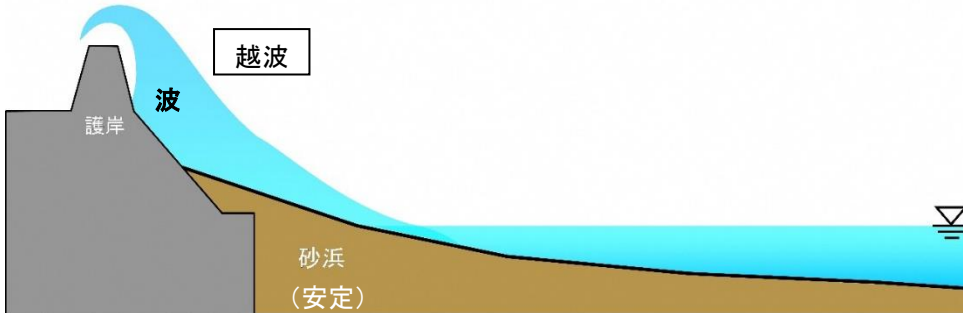
【タイプ A】 侵食傾向にあり、砂浜の波消し機能が不足している海岸

計画的な養浜を主とした侵食対策を実施し、防護上必要な砂浜を回復させ、砂浜回復後は砂浜を維持するための養浜へと移行する。



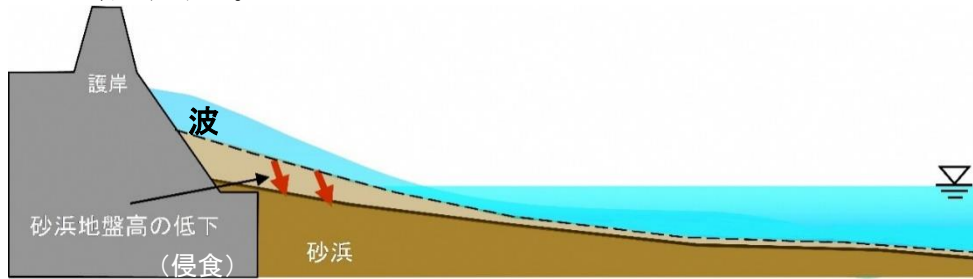
【タイプ B】 安定/堆積傾向にあるが、砂浜の波消し機能が不足している海岸

最小限の護岸改良等を行い、海岸背後地を防護しつつ、サンドリサイクル、サンドバイパス等により現状の砂浜を保全（維持・管理）する。



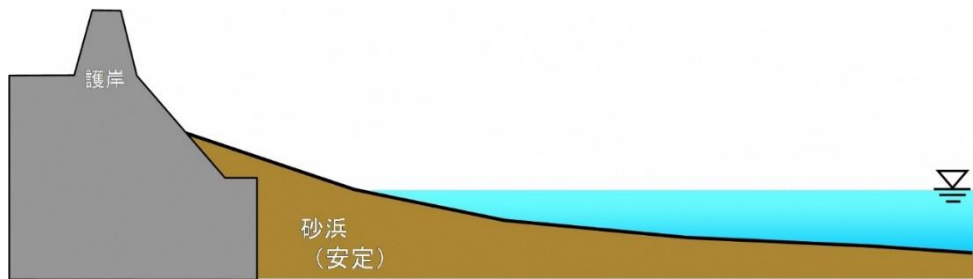
【タイプ C】 侵食傾向にあるがタイプ A ほど侵食が著しくなく、砂浜の波消し機能が残されている海岸

今以上の侵食を防止し波消し機能を継続させるため、養浜を行い現状の砂浜を保全（維持・管理）する。

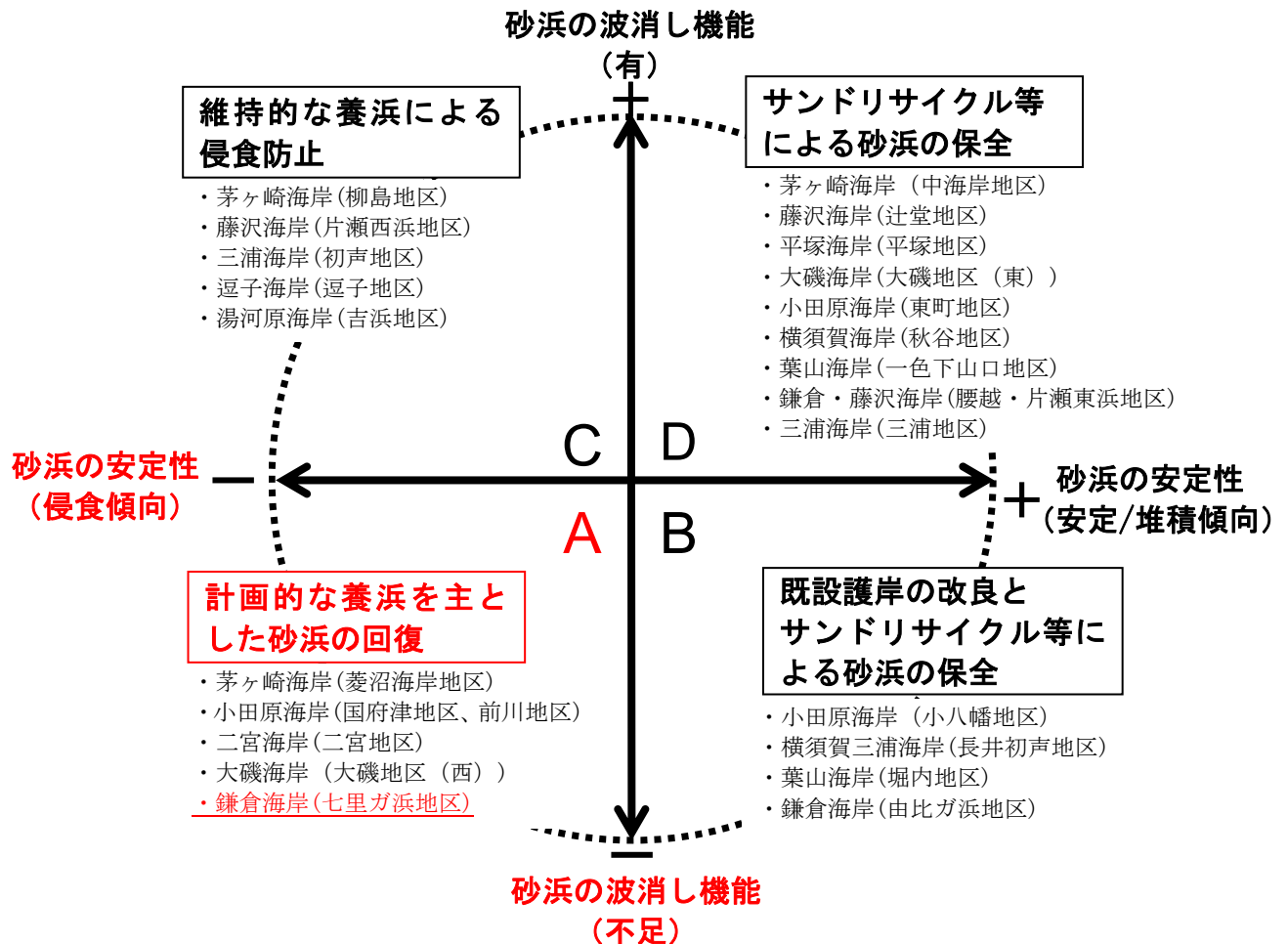


【タイプ D】 安定/堆積傾向にあり、砂浜が波消し機能有している海岸

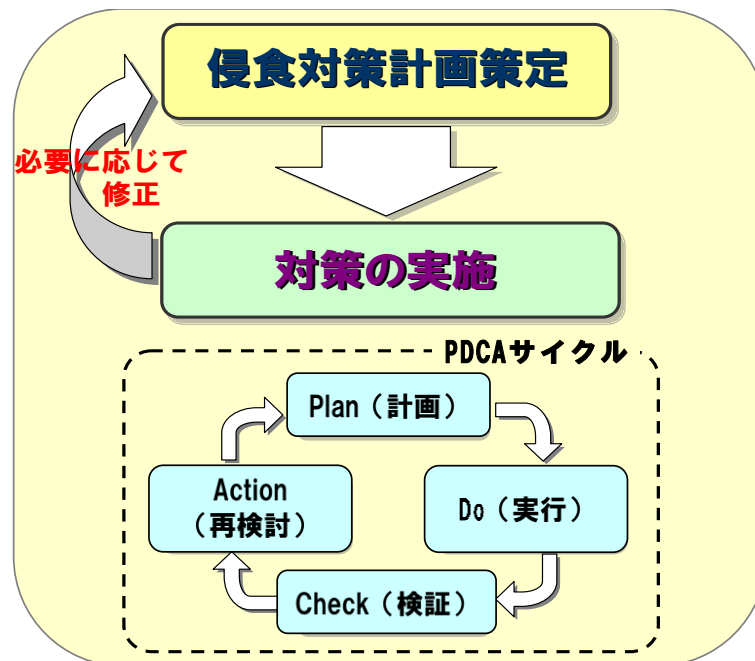
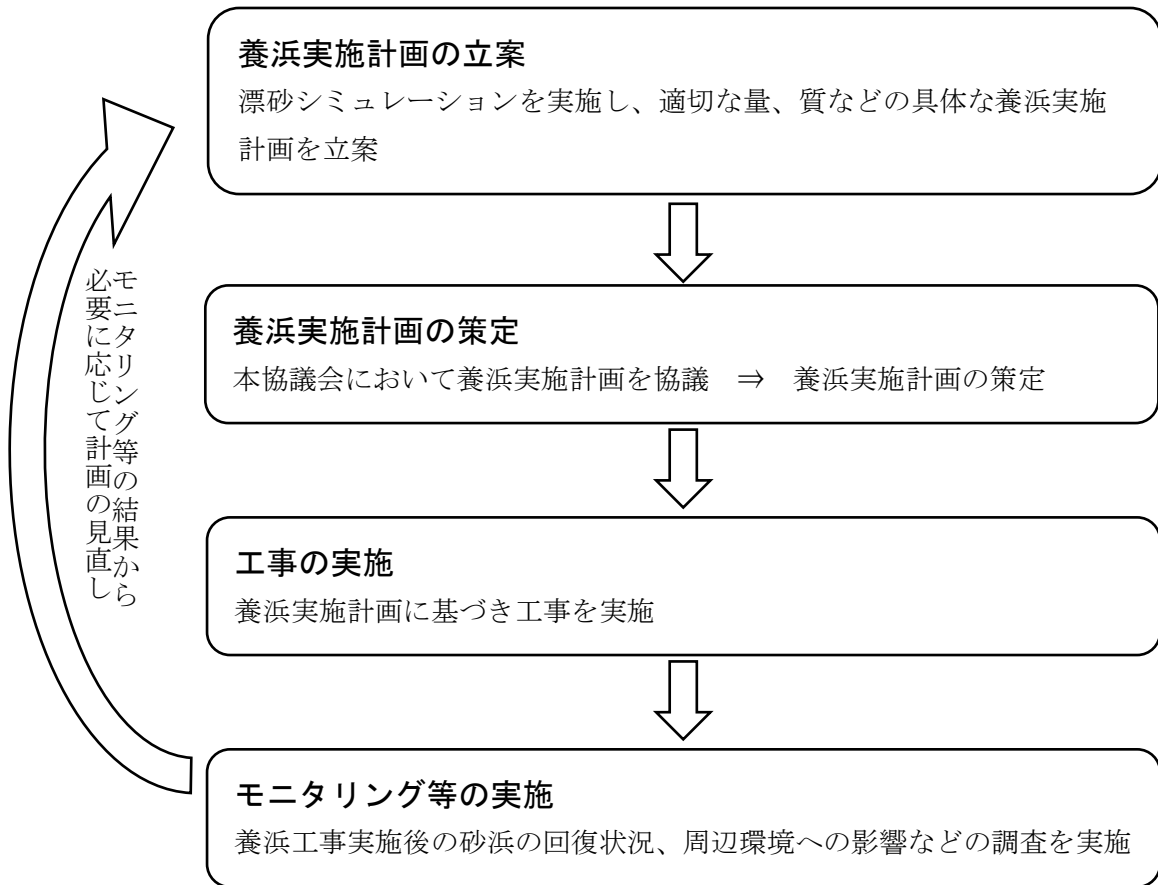
サンドリサイクル、サンドバイパス等により現状の砂浜を保全（維持・管理）する。



3. 各海岸における侵食対策の基本方針



4. 施策の実施手法



5. 養浜計画

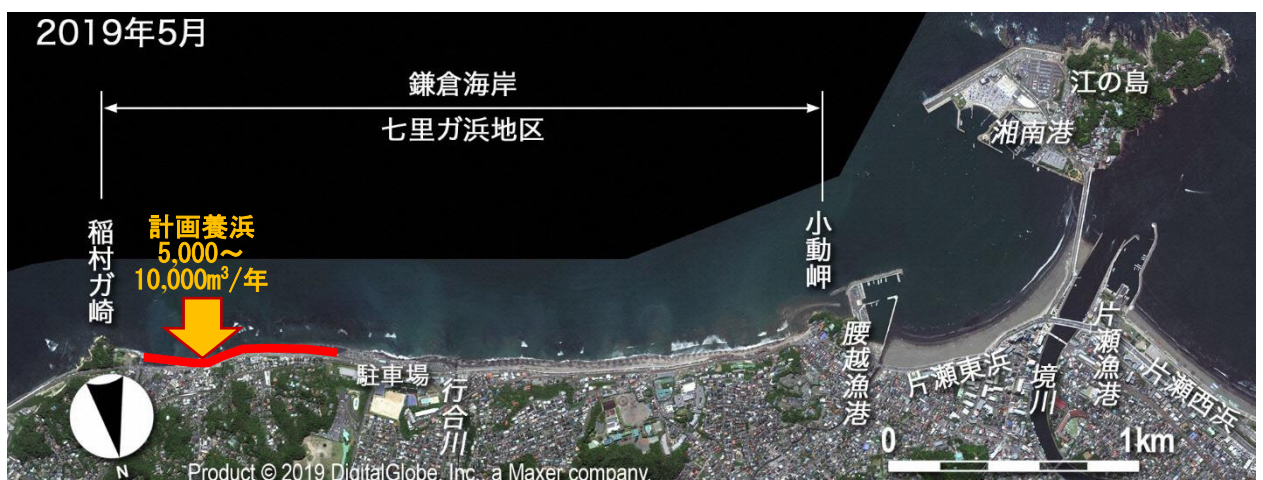
【侵食対策の計画浜幅】

| 鎌倉海岸 | 計画浜幅 |
|--------|--------|
| 七里ガ浜地区 | 20～30m |

【侵食対策計画】

砂浜を回復するために必要な養浜の計画量は以下の通りとする。

| 鎌倉海岸 | 侵食対策計画 |
|--------|---|
| 七里ガ浜地区 | 稲村ガ崎西側に養浜（5,000～10,000m ³ /年）を行い、砂浜を回復します。 |



【侵食対策（養浜 10,000m³/年）の有無による浜幅の変化予測結果（10年後）】

